

視標

香港条例案撤回

朱建栄 東洋学園大教授

香港政府の林鄭月娥行政長官は、中国本土への容疑引渡しを可能にする「逃犯条例」改正案の撤回を表明した。6月に廃案方針を示していたが、さらなる譲歩へ追い込まれた。三つの要因が考えられる。

一つ目は10月1日の国慶節だ。北京で盛大な式典を開き、中国建国70周年を祝う重層行事だけに、香港政府や後援者の習近平・中国指導部にうって抗議行動の早期収束が義務

と、中国から見たら、蔡氏は要するに、民主運動を武力弾圧した天安門事件の10の舞いになりかねない。事件が起きた1989年当時と異なり、中国はより大國である。香港を手を出せば30年前に逆戻りし、国際的な影響を完全に失う。そのこと

は、この点が一番大きかったと考えている。中国政府が香港を手を出さざるを得ない状況に至る前に、譲歩に踏み切

らなかつた。今回、メソを捨ててでも收拾の道を選んだと言え

た。改正案撤回の要因として、この点が一番大きかったと考えている。中国政府が香港を手を出さざるを得ない状況に至る前に、譲歩に踏み切

らなかつた。今回、メソを捨ててでも收拾の道を選んだと言え

た。改正案撤回の要因として、この点が一番大きかったと考えている。中国政府が香港を手を出さざるを得ない状況に至る前に、譲歩に踏み切

らなかつた。今回、メソを捨ててでも收拾の道を選んだと言え

視標

香港「逃亡犯条例」改正案撤回

東洋学園大教授 朱建栄



しゅ・けんえい 1957年、中国上海市生まれ。華東師範大学、86年に来日し、学習院大で博士号。中国の政治外交などが専門。「香港回廊」など著書多数。

香港政府の林鄭月娥行政長官は、中国本土への容疑引渡しを可能にする「逃犯条例」改正案の撤回を表明した。6月に廃案方針を示していたが、さらなる譲歩へ追い込まれた。三つの要因が考えられる。

一つ目は10月1日の国慶節だ。北京で盛大な式典を開き、中国建国70周年を祝う重層行事だけに、香港政府や後援者の習近平・中国指導部にうって抗議行動の早期収束が義務

と、中国から見たら、蔡氏は要するに、民主運動を武力弾圧した天安門事件の10の舞いになりかねない。事件が起きた1989年当時と異なり、中国はより大國である。香港を手を出せば30年前に逆戻りし、国際的な影響を完全に失う。そのこと

は、この点が一番大きかったと考えている。中国政府が香港を手を出さざるを得ない状況に至る前に、譲歩に踏み切

らなかつた。今回、メソを捨ててでも收拾の道を選んだと言え

た。改正案撤回の要因として、この点が一番大きかったと考えている。中国政府が香港を手を出さざるを得ない状況に至る前に、譲歩に踏み切

らなかつた。今回、メソを捨ててでも收拾の道を選んだと言え

た。改正案撤回の要因として、この点が一番大きかったと考えている。中国政府が香港を手を出さざるを得ない状況に至る前に、譲歩に踏み切

米中決裂のリスク除去

と、いへ、実際に介入すれば、民主運動を武力弾圧した天安門事件の10の舞いになりかねない。

事件が起きた1989年当時と異なり、中国はより大國である。香港を手を出せば30年前に逆戻りし、国際的な影響を完全に失う。そのこと

は、この点が一番大きかったと考えている。中国政府が香港を手を出さざるを得ない状況に至る前に、譲歩に踏み切

らなかつた。今回、メソを捨ててでも收拾の道を選んだと言え

た。改正案撤回の要因として、この点が一番大きかったと考えている。中国政府が香港を手を出さざるを得ない状況に至る前に、譲歩に踏み切

らなかつた。今回、メソを捨ててでも收拾の道を選んだと言え

た。改正案撤回の要因として、この点が一番大きかったと考えている。中国政府が香港を手を出さざるを得ない状況に至る前に、譲歩に踏み切

東洋学園大教授 朱建栄氏



しゅ・けんえい 1957年、中国上海市生まれ。華東師範大学、86年に来日し、学習院大で博士号。中国の政治外交などが専門。「香港回廊」など著書多数。

視標

米中決裂のリスク除去

と、いへ、実際に介入すれば、民主運動を武力弾圧した天安門事件の10の舞いになりかねない。

事件が起きた1989年当時と異なり、中国はより大國である。香港を手を出せば30年前に逆戻りし、国際的な影響を完全に失う。そのこと

は、この点が一番大きかったと考えている。中国政府が香港を手を出さざるを得ない状況に至る前に、譲歩に踏み切

らなかつた。今回、メソを捨ててでも收拾の道を選んだと言え

た。改正案撤回の要因として、この点が一番大きかったと考えている。中国政府が香港を手を出さざるを得ない状況に至る前に、譲歩に踏み切

香港「逃亡犯条例」改正案撤回

香港政府の林鄭月娥行政長官は、中国本土への容疑引渡しを可能にする「逃犯条例」改正案の撤回を表明した。6月に廃案方針を示していたが、さらなる譲歩へ追い込まれた。三つの要因が考えられる。

一つ目は10月1日の国慶節だ。北京で盛大な式典を開き、中国建国70周年を祝う重層行事だけに、香港政府や後援者の習近平・中国指導部にうって抗議行動の早期収束が義務